

# 水俣病闘争を盛上げ

東京 「水俣」東京…そして「祭」開く

「水俣」東京…そして「祭」という公害告発の集会在二十日午後東京・日比谷公園野外音楽堂と有楽町ビテオホールで開かれた。

二十六日のチツソ株主総会を前に水俣病闘争をさらに盛り上げ、苦海浄土基金二千万円の目標達成を図って東京・水俣病を告発する会が中心になって企画したもの。

野外音楽堂での集会には東京をはじめ大阪、名古屋、京都など全国九地区の水俣病を告発する会員など約三百人と水俣市から渡辺菜

蔵訴訟患者会代表、日吉フミコ水俣市民会議会長ら六人が参加、「公害企業は私たちの命を豚一匹程度の値段としか考えていない。全国の公害撲滅のためガンバリたい」と渡辺さんがあいさつした。このあとフォーク、ジャズグループなどの演奏や公害水俣病告発の演劇などが上演され、ビテオホールでは東プロ作品の長編記録映画「水俣・患者さんとその世界」などが上映された。

(東京支社)